

じゅくしゅう

浄覚寺「ども会 夏のつどい」

回も自粛を
しました。
そこで、制

七月十八日(日)今年で
二十一回目を迎える「浄覚
寺」ども会「夏のつどい」を
開催しました。昨年の夏は
コロナ禍の影響で急遽中止
となりましたので、今年は無
事に行うことができました良
かったです。しかも、この
度は初めて来てくれる参加
者が多かったこともあり、
おつとめの仕方や合掌する
ことの意味など、ゆっくり
とお話ししてから始める
ことができました。



恒例の流しそうめんは今
作やゲームを中心に本堂で
楽しく遊ぶことにしました。
ゲームは夏祭りをイメージ
して色んな出店を準備し
ます。スーパーストロールす
く、輪投げにストラックア
ウト、ボーリングにトミカ
釣りなどなど、全部で八種
類のお店で楽しみました。
射的に使うゴム鉄砲は自分
たちで手作りをして挑みま
した。
できることを精一杯準備
して、楽しい一日とするこ
とができました。

第28号
(通算368号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

いる身体を
リセットす
る方法だと

七月二十一日(水)「浄
覚寺ヨガ教室」がスタート
しました。

昨年四月に開講予定でし
た。延期に次ぐ延期で心が
折れそうになっていました
が、この度無事にスタート
することができました。

私も参加しましたが、とっ
ても気持ち良かったです。
ヨガとは呼吸法であり、ゆっ
くりと呼吸しながら身体を
伸ばして、いつも頑張って



今月のクイズ

・老若男女皆しくな
ってきた当山の本堂で
すが、いつ建立され
たかの参考にしてい
る、内陣間への裏
書きは何年となって
いるでしょうか?

・正解は先月号にて

教えていただきました。

また、ヨガとは「つなぐ」
という意味もあるとのこと。

普段意識していない自分の
身体とつながったり、また
大地や自然と自分がつながっ
ていることを感じていくこ
とも大切なことと聞かせて
いただきました。

毎月第三水曜日、十時
十一時半に開催します。次
回は八月十八日です。ぜひ
ご参加ください。

設我得仏

十方衆生 至心信樂

欲生我國 乃至十念

若不生者 不取正覺

唯除五逆 誹謗正法

《大無量壽經》



御文章に聞く(第25回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。先に進んでいきたいと思いますが、前回、阿弥陀仏が成就された第十八番目の願いは「若(わか)く不生(なま)ず、不取(と)り正覚(しやうかく)」という一もし生(なま)ぜずは、正覚を取らじ。すなわち「この願いどおりに十方の衆生をすくう力をそなえることができるならば、私は決して仏には成らない」

機法(きほう)一体章(いつたいしやう)(四帖第十一通)もそも、南無阿弥陀仏の体は・すなわちわれら衆生の・後生(ごせい)たすけたまえとたのみもうす心(こころ)なり、すなわちたのみ衆生(しゆせい)を・阿弥陀如来(あみだにょらい)のよくしるしめして・すでに無上大利(むじやうたいたり)の功德(こんぷく)をあたえましますなり、これを、衆生(しゆせい)に回向(くわうきやう)したまえるといえるは・この心(こころ)なり、

仏教語辞典



一期一会

茶道で使われている言葉が一般化したもの。一生(いっせい)涯(が)で一度(いちど)きりの出会いという意味。「一期」は生まれてから死ぬまでの一生涯(いっせい)、「一会(いっかい)」はひとつの宗教的(しゆきうてき)な集まりをあらわし、ともに仏教用語(ぶつぎょうぎよ)である。あらゆるものが常に移り変わるといふ仏教思想(ぶつぎょうしゆしやう)から考えると、

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

という決意(けつぎ)が現れてきます。この御文章(ごぎぶんしやう)は「機法(きほう)一体章(いつたいしやう)」というタイトルですが、これは十方衆生(じふしやうしゆせい)全(ぜん)てのいのちの往生(おんじやう)「機(き)」と阿弥陀仏(あみだぶつ)の正覚(しやうかく)(悟(ご)られたこと)「法(ぽう)」が不二(ふじ)一体(いつたい)、つまり一つのものであると言(い)われています。阿弥陀仏(あみだぶつ)が仏(ぶつ)に成(な)っておられるというこは、十方(じふしやう)の衆生(しゆせい)をすくう力が具(た)わつていふこととす。けれど、この阿弥陀仏(あみだぶつ)の第十八願(じふはちげん)をどのように理解(りかい)するかというのも問題(もんだい)となります。例えば念仏(ねんぶつ)を数多(かず)く称え(な)で、それを功績(こうせき)として、臨終(りんしゆう)に阿弥陀仏(あみだぶつ)にお迎え(むかひ)をいただいて浄土(じやうど)に往生(おんじやう)すると理解(りかい)する一派(いっぺい)もあります。それに対して浄土真宗(じやうどしんしゆ)は他力(たから)の信心(しんじん)一つで私の往生(おんじやう)成(な)仏(ぶつ)が決定(けつぎ)するといふ、信心(しんじん)正(ただ)因(よ)の道理(だうり)を明らかにしているのだと見抜(ひら)かれたのが、蓮如上人(れんじやうじやう)の機法(きほう)一体章(いつたいしやう)説(せつ)なのです。

編集後記

今月(こんげつ)も「じゆこう」をお届け致します。念願(ねんげん)のヨガ教室(ぎやうしやう)がスタートしました。延期(てんぎ)に次(つぎ)ぐ延期(てんぎ)で、「やるやる詐欺(ざけ)」ではないかと冗談(じゆたん)を言(い)われたほどです。再度(たふ)緊急(きんぎょ)事態(じたい)宣言(げんげん)が出れば中止(ちゆうし)の可能性(かんのせい)もありますが、少しホツとしております。空調(くうたう)を効(き)かせた本堂(ほんだう)で照明(しやうめい)を落とし、お内陣(うちじん)の蝋燭(ろうそく)を中心(ちゆうしん)とした赤(あか)い光(ひかり)を背景(はいけい)に、お香(か)の香(か)りが広がる空間(くわんげん)でのヨガ教室(ぎやうしやう)は、あたくもお浄土(じやうど)を感じ(か)せるものとなりました。(釋法道(しやくぽうだう))

何気(なんげん)ない日常(にちじやう)でもその瞬間(しゆんげん)瞬間(しゆんげん)が一度(いちど)きりしかないご縁(ごえん)と受け取(う)ることができ、「一期一会(いっさいいっかい)」というちよつと丁寧(ていねい)な気持ち(きもち)で接(せつ)することができるようになる。

浄覚寺ヨガ教室

八月十八日(毎月第三水曜日開催)
午前十時～十一時半
参加費五百円 場所 浄覚寺本堂
持ち物 水分・タオル・ヨガマット
(貸し出し有り)
どなたでも参加ください。お問い合わせはHPからどうぞ。



九月二十三日(祝) 十四時より
秋季彼岸会 法話 石崎博敏先生

日時・八月十五日(日) 十四時より
行事・孟蘭盆会
法話・花岡静人先生(奈良)
(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

行事案内

